

「はたらくクルマ」のことがもっと好きになるトラック情報誌

月刊 **トラックランド**

巻頭特別企画

スカニア スウェーデン 本社視察レポート

2026
APR
vol. **55**

TAKE FREE

特集

特定技能ドライバー

求められる要件や受け入れの流れを解説

ジャパントラックショー 2026

特別コラボ企画

- トラックランドコラム
- リース車両カタログ
- 厳選在庫車両カタログ



スカニアを
もっと気軽に、より身近に

スカニアトラックのレンタルサービス **エス・レント**

S-RENT



※写真は欧州仕様車です。日本市場向け仕様とは異なります。

26	厳選在庫車両カタログ	・アルミバン ・アルミウイング ・平ボディ ・ダンブ ・アームロール ・セーフティローダー ・セルフローダー ・クレーン付 ・ミキサー車 ・粉粒体運搬車 ・トラックヘッド ・バス ・パッカー車 ・高所作業車
19	サブスケデスグのり車両カタログ	
17	トラックドライバの眠気対策!	
15	ジャパントラックショー2026 特別コラボ企画	・ユーザー購入車両活用事例 ・「想いを運ぶ」コココテン・ヨコハマ
9	特集「特定技能ドライバー」 求められる要件や受け入れの流れを解説	
1	スカニア スウェーデン本社視察レポート	巻頭特別企画

目次写真：スウェーデン・ストックホルム（中世の面影を残す旧市街ガムラスタン）

トラックランドは

仕入れ強化中!!

HPに掲載の無い車両や 他社で見つからない車両も 気軽にお問合せください

KYOKUTO

強靱な赤。

HYPERSWING
HOOKROLL

これまでよりさらにパワフル、さらにスピーディーに進化。
あらゆる現場に対応できる無敵のハイバースウィング。
圧倒的な力で現場作業をサポートします。

吊上げ能力
約**13%**
アップ

作業スピード
約**10%**
アップ

- ・アーム強度の向上と油圧の高圧化により、吊上げ能力を約13%向上
- ・油圧機構の刷新と専業独自のシステムの採用により、作業スピード約10%向上とスムーズ化を実現
- ・車体設計、スイングモーションの最適化により、作業全長の低減と作業全長の短縮化を実現
- ・作業性をさらに向上させる、「フックチャルト」と「ワイヤレスリモコン」を標準装備
- ・最適な車体設計により、従来機に比べ軽量化を実現

極東開発工業株式会社

本社 / 大阪府大阪市中央区淡路町二丁目5番11号 極東開発グループビル 〒541-8519 TEL.(06)6205-7800
東京本部 / 東京都品川区東品川3-15-10 〒140-0002 TEL.(03)5781-9821

ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>

●北海道支店 ☎(011)251-5701 ●東北支店 ☎(022)236-6692 ●首都圏支店 ☎(03)5781-9825 ●北関東支店 ☎(048)668-7712 ●中部支店 ☎(0568)71-223 ●関西支店 ☎(0798)66-1011
●中国支店 ☎(082)232-8358 ●九州支店 ☎(092)471-1001



お電話受付時間：平日 10:00 ~ 18:00

☎ **0120-617-417**

【運営会社：株式会社タカネットサービス】
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番4号 みなとみらいビジネススクエア（本社）





SCANIA Sweden Headquarters Report

スカニア視察 スウェーデン本社編 記事・写真・編集 / 月刊トラックランド 編集部

昨年よりサービスを開始した「S-RENT(エス・レント)」では世界各国で評価の高い高性能なスカニアトラックを定額でレンタルすることが可能です。今回月刊トラックランド編集部がスカニア社の物作りにおけるアイデンティティ、ルーツ、さらなる魅力を探るため、スウェーデン本社を2日間に渡り訪問しました。現地で感じた同社の強みと、日本市場におけるスカニア車の価値についてお伝えします！



欧州における環境問題への取り組みは、日本と比べ先進的であり長期的視点で進んでいます。カーボンニュートラルの分野で世界をリードするスウェーデンでは、2030年までに運輸部門の排出量を70%削減するという目標を掲げています。

昨年よりタカネットサービスでは、スウェーデンに本社を構えるスカニア社のトラックをレンタルできるサービス「S-RENT(エス・レント)」を開始しました。創業135年を迎えるスカニア社は、当初、乗用車や鉄道車両の製造を手掛けており、現在はフォルクスワーゲングループの商用車部門における中核企業として成長を続けています。スカニア社のトラックは欧州を中心に世界各国で高い評価を得ており、優れた燃費性能と快適な居住性に加え「サステナブル・トランスポート(持続可能な輸送)」を追求した製品づくりを行っています。

今回、月刊トラックランド編集部がスカニア社の物作りにおけるアイデンティティ、ルーツ、さらなる魅力を探るため、スウェーデン本社を2日間に渡り訪問しました。現地で感じた同社の強みと、日本市場におけるスカニア車の価値についてお伝えします。

朝、スウェーデンの首都ストックホルム中心部を出発し、約1時間かけてセーデルテリアエへ向かいました。同地域はスカニア本社をはじめ、開発・生産・物流拠点が集積するエリアで、湖と運河に囲まれた南東部のエリアです。市街地では日本と比べてスカニア製トラックやバスの走行台数が多く、地域経済における存在感の大きさがうかがえました。本社周辺では日本ではあまり見かけないタイプの多軸トレーラーや特装车なども走行しており、欧州の物流ニーズに適した製品展開が行われていることを実感しました。到着後は本社敷地内のカンファレンス施設にて現地担当者よりウェルカムスピーチ、会社概要および沿革について説明を受けました。その後は近隣の車体組立工場へ移動し3チームに分かれて工場見学を行いました。私のチームは約40年間勤務されたベテラン社員であるマーティ氏に案内していただきました。

この工場では、まず組み立て、各工程でチェックを行い、その後お客様ごとのオプションを取り付けます。最終確認を





終えた車両は、出荷・搬送のプロセスへ進みます。部品はスウェーデン国内外の複数拠点から集められています。見学はシャーシフレームの組立てエリアから始まり、車軸の装着、配線やエア配管の取り付け工程、バッテリーの組立て工程、キャブの取り付けなどのライン業務を間近で見ることができました。工場内ではゲスト用の黄色い枠線内を注意しながら歩きます。スタッフもゲストの来訪に慣れているのかりラックスとして業務を進めている様子でした。欧州を中心にアジアなど各国の規定に合わせたカスタマイズが必要なため、細かい作業はスタッフの手作業で重量があるものは吊り上げ装置やロボットを使用し使い分けられます。最終工程の組み立ての際にやっとタイヤが地面に接します。品質管理やプログラムの確認をクリアした後は約3kmに渡る走行のチェックが行われこの工場での作業が完了します。

各エリアではノルマおよびタクトタイム(製造における目標時間)が設定され、定められた時間内で作業を完了させる運用となっていました。作業に時間を要する場合には、「ANDON」と呼ばれるオレンジ色のベストを着用したスタッフがフォロワーに入り、工程の停滞を防ぐ仕組みが導入されていました。これはトヨタ生産方式の考え方を取り入れたものとされています。また「Scania Production System(SaS)」と呼ばれる工場での生産システムの理念のもと、工場内では2時間ごとにチームリーダー会議が開かれるほか、週1回の業務改善の時間が設けられています。見学中、製造エリアに面した小部屋でスタッフが数人で話し合っていたり、コーヒーを楽しみながら資料を見て談笑しているのを見かけました。日々の業務の中で得られた小さな気付きを共有し、継続的な改善につなげる運用が定着している点は、組織全



体の力を高める仕組みとして有効であると感じました。午後はスカニア博物館を訪問しました。歴史的なプロダクトを見るのが好きな私はここを踊ります。館内では、スウェーデンで製造された最初の内燃機関自動車や鉄道車両、自転車、歴代トラックおよびエンジンなどが展示されていました。1900年代初期の自動車は馬車のようなデザインで特別な用途の為に使用されていたものだそうです。その他にも館内には写真や設計図、歴史的資料などが展示されており、同社が100年以上にわたり技術革新に取り組んできた歴史を理解する貴重な体験ができました。続いて、博物館からバスで5分ほどの場所にあるトランスミッション組立工場へ移動しました。到着後は午前中と同様に少人数のグループに分かれ見学を行いました。同工場ではギアボックス、リアアクスル、特殊仕様のアクスルの組立てや機能テストなどが行

われています。車両組立工場と比較してスタッフ数が多く、女性比率も若干高い点が特徴的でした。工場内は多数の小型部品が棚単位で整理・保管されており効率的な管理体制が行われていました。何気なく見ていた工場内でしたが、作業エリアの一部には木製の床材が採用され、作業者の足腰への負担軽減を考慮した設計だと説明を受けました。1日に何百回も繰り返し作業もあるため、作業台の調整のような小さな改善や作業時間短縮に向けた提案など、現場ならではの気づきを起点とした改善が継続的に行われているとのことでした。ノルマとタクトタイムに合わせながらも、焦ることなく確実に作業を進める姿から、スタッフ一人ひとりの専門性とプロ意識が見て取れました。また各工程の最終にはクオリティゲート(品質管理工程)と呼ばれるエリアが設けられており、青いタスキを着用したスタッフが、チェックシ

SCANIA「SUPER」のエンジン・ギアボックス・リアアクスル



トを片手にひとつひとつ責任を持って調整していく姿が印象的でした。こうした取り組みは生産効率の最適化や事故リスクの低減につながり、働きやすい職場環境づくりにも寄与していると感じながら、1日目のスカニア本社視察の行程は終了しました。本社視察2日目もバスで向かいます。2月のスウェーデンは氷点下の日が続く、滞在先のホテルからバスに乗り込むまでの数メートルを歩いただけでも刺すような冷たさを感じます。しかし当日は快晴に恵まれ、絶好のコンディションとなりました。この日は試乗体験も予定されており、期待が高まります。到着後、前日に訪問したカンファレンス施設にてスカニア社が100%出資する商業運送会社「トランスポート・ラボ」の企業概要について説明を受けました。同社はセーデルテリエ周辺のスカニア生産拠点間輸送に加



意義な機会となりました。続いて、バスで10分ほどの距離にあるエンジン組立工場へ移動しました。入口には日本からのゲストに向けたウェルカムボードが掲示されており「We welcome our visitors from Japan! (日本から訪問の皆さまを歓迎します!)」との文字がありました。海外からの来訪者に対するホスピタリティとリスペクトを感じ胸が温かくなりました。

同工場では旧世代エンジン・現行エンジン・V8系エンジンの組立てが行われており、ロボットを用いた電源テスト、エンジンテストの準備、部品倉庫、クーリングトンネル(冷却能力・耐久性の試験設備)、エンジンの塗装など多岐にわたる工程を見学しました。こちらの工場でもタクトタイム方式の製造を行っており、他工場と比較して自動化されたロボットの活用を目的とするものが多く、人とロボットが協働する運用が構築されていま

え、スウェーデン・オランダ間の輸送も担っており、実運用環境下での検証・試験、開発部門へのフィードバック、電動化(BEV)推進、再生可能燃料の活用促進、臨時の輸送など「製品検証・実証試験を兼ねた輸送」を行っています。運行・車両管理およびドライバー管理をデジタルで統合しているため、改善やフィードバックを迅速に行える体制が整備されていました。通常の輸送業務と製品検証を同時に実施できる運用は非常に合理的で実運用データを開発部門へ直接還元できる点は品質向上における大きな強みであると感じました。また「スカニアアシスタンス」という緊急時に24時間365日トラブルサポートを受けられるサービスの運用も欧州全域で整っており、グループ内で完結させることが可能ということでした。

「トランスポート・ラボ」のプレゼンテーション後、バスを15分ほど走らせてデモセン

ターへ移動しました。同センターではスカニア車を試乗することができ、全長32mのダブル連結トレーラーに加え、EV車、バス、消防車など計13種類の車両が用意されていました。試乗は2名1組で行い、同乗するインストラクターの指導のもと、1周約3kmのコースを走行する形式です。私はグループ会社でスカニア車のドライバーを務めるN氏と同乗させていただき助手席から走行性能を体感しました。最初に試乗したのは560馬力のトラクタヘッドです。スウェーデンの雪が積もる林道をトレーラーを牽引させ走行します。ドライバーのN氏は左ハンドルに一定の慣れを要したものの安定した運転で完了しました。走行後は「普段トラクタを運転しないため不安はあったが、スムーズに運転できた」と笑顔で語りました。次にEV車に同乗しましたが、動作の軽さに加え走行音が非常に静かである点に感動したとのことでした。長距離

した。また、床面にケーブルを埋設することで無線制御走行をする部品搬送のロボットの運用も確認でき、工程ごとに最適なツールを使い分けている様子が印象的でした。

スカニア本社視察2日目は以上の行程で終了です。今回の視察でスカニア社の工場を中心に見学しましたが、多くの国籍のスタッフが協力しながら働いている様子がとても印象的でした。スカニアでは「The Scania Way(スカニアウェイ)」という理念のもと、すべての社員が安心して働ける職場づくりに積極的に取り組んでいます。今回の視察を通して、スカニア社の技術力だけでなく、企業としての姿勢や文化についても理解を深めることができました。

運転ではエンジン音が疲労要因になるらしく、EV車であればその負担を軽減できる可能性があると感じました。助手席での体感としても騒音が少なく、シートへの乗り心地も快適なもので、長距離移動時の負担軽減に期待できるのではないかと思います。

次に日本国内では珍しい770馬力の材木運搬用トレーラーを牽引するトラクタヘッドに同乗しました。この車は大排気量のV8エンジンを搭載したモデルで、重量物輸送や高負荷の作業に適したトラックとして運送業者から支持されており、スカニア社にとって象徴的なエンジンです。先ほどのEV車と比べるとやはりエンジン音は大きいですが、非常に力強い走行で何トンもの木材を乗せているとは思えない走行でした。

その他複数の走行性能を体感し結果としてこの試乗体験はドライバーをはじめ視察メンバー全員が車両性能や運転時の負荷低減の関心を寄せた有

スカニアトラックのレンタルサービス

S-RENT

スカニアをもっと気軽に、より身近に

スウェーデンに本社を構える130年以上の歴史を持つ、世界的重工業会社「スカニア(Scania)」。その高性能・高品質なトラックのレンタルサービスが誕生！「S-RENT(エス・レント)」なら定額・専門メンテナンス込みでご利用いただけます。

サービスに関するお問い合わせはこちら：
株式会社タカネットサービス リースレンタル事業部 <https://takanet-s.com>



トランテックス
Trantechs Ltd.

力強く、美しく。
プロフェッショナルな選択。

タカネットサービス様納入スカニア「SUPER」1号車

<https://www.trantechs.co.jp>

欧州製トラック専門販売サイト

EURO TRUCKS

<https://euro-trucks.jp>

New UT-1400R

THERMOKING undermount Unit

主な特徴

- 信頼のX430コンプレッサ採用高い信頼性を確保
- クラス最高の冷却能力
- 全幅≒200mm削減&約40kgの軽量化 (W 1608 X H 636 X D 721)
- 騒音の低減
- ETVを標準装備し最適負荷運転
 - 20%以上の燃費向上 (当社比)
 - 正確な温度制御
- フロントオーパタイプで整備性向上

THERMO KING

春は夏タイヤへ。
摩耗・燃費のムダ削減

スタッドレスの春履き注意

気温上昇で摩耗が進みやすく、燃費・タイヤコストのムダにつながります。
トラックタイヤは夏用へ早めの履き替えを。

出張交換OK
2t / 4t / 大型まで対応

正確な作業で安心運行をサポートします。

見積り無料 (現車確認可)

【注意点】

- 摩耗が早い : 気温上昇で摩耗が進みやすくなります
- 燃費悪化 : 転がり抵抗が増えやすく燃費コストに響きます
- 制動・安定性低下 : 乾いた路面で制動距離に影響、ふらつきやすいことがあります
- 雨天での性能低下 : 摩耗が進むと排水性が落ち、性能が低下します
- 発熱・劣化 : 熱で硬化やひび割れが進み、次シーズンの性能が落ちやすくなります

今年度の夏で一周年!

〒341-0028 埼玉県三郷市南蓮沼790-1 ☎ 048-951-5604

三郷西ICから約15分
三郷中央ICから約15分

三郷西IC
三郷IC入口(西)
三郷JCT
花和田
三郷中央IC

記念碑通り
常磐自動車道
幸房用水通り

三郷市役所東
ミシュラントラックセンター埼玉

株式会社 **ニッタ タイヤ**

<https://www.nittatire.co.jp/>

本社 〒373-0813 群馬県太田市内ヶ島町211-1
☎0276-46-2155(代) FAX0276-48-0178



特集

「特定技能ドライバー」 求められる要件や受け入れの流れを解説

物流業界ではドライバー不足が深刻化する中、新たな人材確保の手段として「特定技能ドライバー」への注目が高まっています。そのため、特定技能ドライバーの受け入れを検討中の事業者様も多いのではないのでしょうか。

特定技能ドライバーの受け入れをする場合、制度の理解や適切な手続きが欠かせません。今回は、特定技能制度の概要をはじめ、特定技能ドライバーに求められる要件や、受け入れまでの具体的な流れ、実際の受け入れ事例などを解説します。

そもそも 特定技能制度とは？

人手不足が深刻な産業分野において、一定の専門性や技能を持つ外国人材を受け入れる為に創設された在留資格制度です。即戦力としての活躍を前提としており、従来の技能実習制度とは異なり、就労を主な目的としている点が大きな特徴です。

特定技能には「特定技能1号」と「特定技能2号」があり、1号は基礎的な知識や技能、日本語能力を有する人材が対象となります。対象分野は国が定めており、物流・運送業界もそのひとつで、トラックドライバーは「特定技能1号」に該当します。

企業側は、適切な労働条件の整備や生活支援体制の構築など、受け入れにあたって一定の責任を担う必要があります。

採用までの流れ

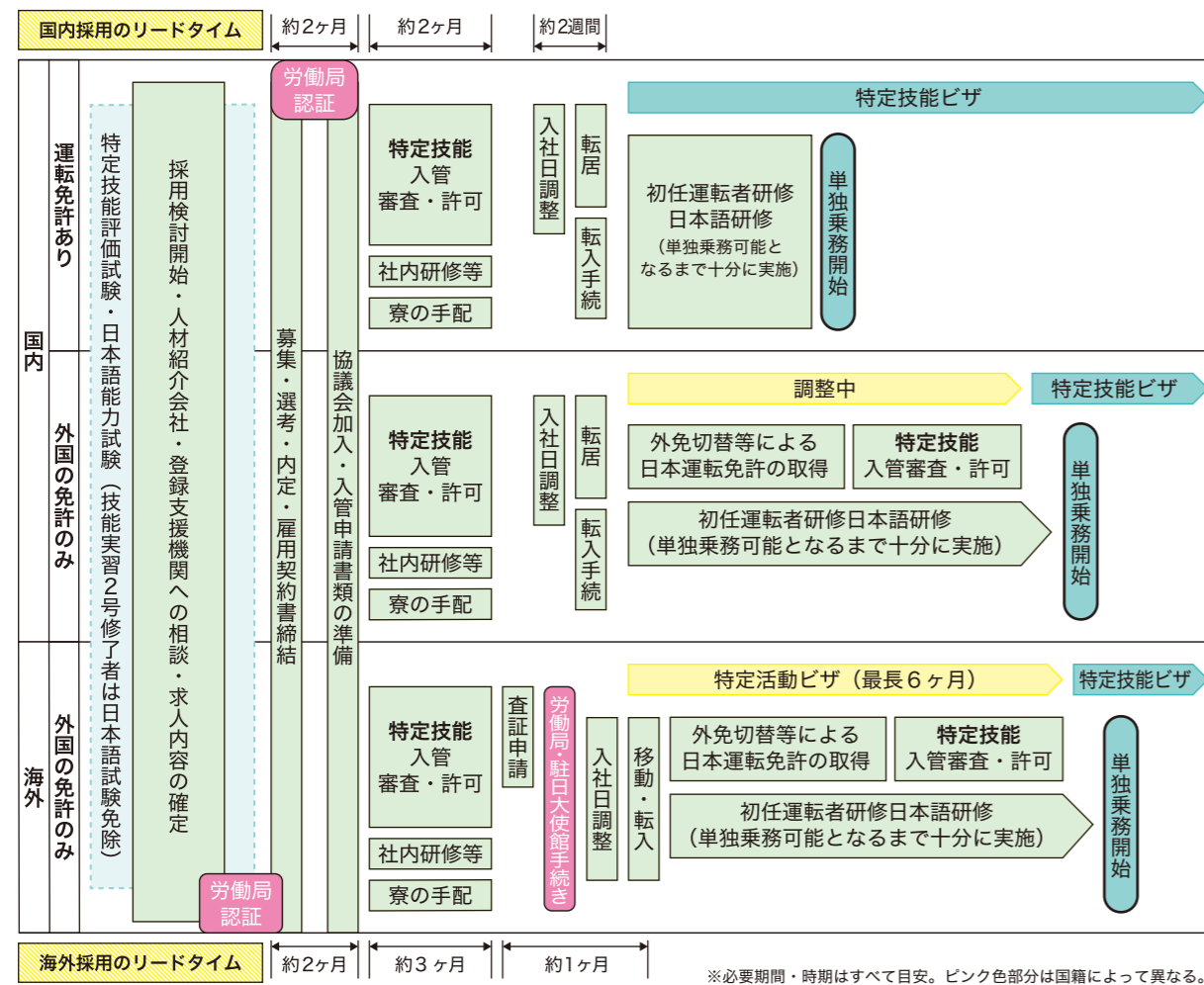
特定技能ドライバーの採用は、一般的な人材採用とは異なり、制度に沿った段階的な手続きが必要となります。まずは採用計画の策定と求人内容の整理を行い、業務内容や労働条件が特定技能制度の要件を満たしているかを確認します。その上で、海外・国内いずれかのルートで候補者の募集・選考を進めます。

候補者の選考にあたっては、採用予定者が日本語能力試験および自動車運送業分野特定技能1号評価試験に合格しているかを確認します。海外在住者の場合は、それらの試験合格後に在留資格「特定活動」で入国し、日本の運転免許取得や必要な研修を受ける期間が設けられます。国内在住者の場合は、条件を満たしたうえで在留資格変更の申請を行います。

加入、雇用契約の締結、在留資格「特定技能1号」への変更申請を経て、許可が下り次第、正式な就労が開始されます。採用後も、法令に基づく支援体制の整備や定期的なフォローが求められるため、採用から定着までを見据えた計画的な対応が重要といえるでしょう。

外国人が日本のトラック・タクシー・バスといった自動車運送業で「特定技能1号」の在留資格を取得し、ドライバーとして就労するために必要な知識や技能を有しているかを確認するための試験です。トラック・タクシー・バスの各分野ごとに実施され、運行業務や安全管理、接遇など、実務に直結する内容が問われます。なお、試験に合格した場合でも、特定技能の在留資格が自動的に付与されるわけではありません。合格後は、受け入れ企業の確保や在留資格申告など、所定の手続きを経て就労開始となります。

技能水準を証明する試験一覧採用プロセス全体の流れとスケジュール



参考：全日本トラック協会「自動車運送業分野 トラック区分における特定技能外国人受け入れの手引き」

特定技能ドライバーに求められる要件とは

特定技能ドライバーとして就労するためには、制度で定められた複数の要件を満たす必要

があります。まず基本となるのが、日本語能力と技能水準の証明です。具体的には、




日本語能力を証明する試験に合格していることに加え、「自動車運送業分野特定技能1号評価試験（トラック・バス・タクシー）」に合格していることが求められます。

それらの試験では、運行業務や荷役業務、接遇など、実務に直結する内容が評価されます。また、日本国内で業務として車両を運転するため、日本の自動車運転免許の取得が必須となります。

トラックドライバーの場合は第一種運転免許、バス・タクシードライバーの場合は第二種運転免許が必要となり、バス・タクシー分野では新任運転者研修の修了も要件に含まれます。海外免許を保有している場合でも、外免切替（外国免許切替）などを通じて日本の免許を取得しなければなりません。

外免切替は2025年の10月の法改正以降、内容が厳格化し、住民票の提出や学科試験、実技試験の内容が難化しています。

技能水準を証明する試験一覧

区分	技能水準		日本語能力
	運転免許※1	特定技能試験	日本語試験等
トラック 	第一種運転免許	自動車運送業分野 特定技能1号評価試験 (トラック)	下記のいずれか ・日本語能力試験 N4 以上※2 ・国際交流基金日本語基礎テスト ・技能実習 2 号の良好修了※3
タクシー 	第二種運転免許	自動車運送業分野 特定技能1号評価試験 (タクシー)	日本語能力試験 N3 以上※2
バス 	第二種運転免許	自動車運送業分野 特定技能1号評価試験 (バス)	日本語能力試験 N3 以上※2

※1：事前に外国の運転免許を取得している必要があり、入国後、外免切替等により日本の第一種又は第二種運転免許を取得。
※2：N1 から N5 まであり、N1 が最も難易度が高い。N3 は「日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができるレベル」、N4 は「基本的な日本語を理解することができるレベル」。
※3：良好に修了した技能実習については職種・作業を問わない。

参考：全日本トラック協会「自動車運送業分野 トラック区分における特定技能外国人受け入れの手引き」

受け入れ企業に求められる要件

特定技能ドライバーを受け入れる企業には、外国人材が安心して働ける環境を整えるための要件が定められています。まず、道路運送事業を適正に

経営していることが前提です。加えて、自動車運送業分野特定技能協議会の構成員となり、制度の趣旨に沿った受け入れ体制を構築することが求められます。

また、労働環境や安全管理体制についても一定の基準を満たさなければなりません。具体的には、「運転者職場環境良好度認証制度（働きやすい職場認証制度）」の認証を受けていることが条件となります（トラック分野の場合）。

受け入れ企業がすべきこと

1	運転者職場環境良好度認証制度の認証を受ける	労働条件・労働環境を見える化するための制度。基準を満たさないと認証を受けることができない
2	新任運転者研修を実施する	旅客自動車運送事業運輸規則 第38条第1項、第2項および第5項並びに第39条に規定する事項についての指導、監督、特別な指導を実施し、その記録を3年間保持する
3	特定技能協議会に参加する	外国人を保護するための機関で、所管省庁・受け入れ企業・業界団体・関係省庁等で構成されている

なお、特定技能外国人に対しては、日本人ドライバーと同等以上の労働条件で雇用することが原則です。賃金や労働時間、休日などについて差別的な取り扱いを認められておらず、法令を遵守し

自動車運送業分野 特定技能試験とは？

た雇用管理が不可欠となります。





外国人が日本のトラック・タクシー・バスといった自動車運送業で「特定技能1号」の在留資格を取得し、ドライバーとして就労するために必要な知識や技能を有しているかを確認するための試験です。

トラック・タクシー・バスの各分野ごとに実施され、運行業務や安全管理、接遇など、実務に直結する内容が問われます。なお、試験に合格した場合でも、特定技能の在留資格が自動的に付与されるわけではありません。合格後は、受け入れ企業の確保や在留資格申告など、所定の手続きを経て就労開始となります。

自動車運送業分野特定技能試験の詳細

受験資格	受験資格は、試験実施日に満17歳以上であること（インドネシアでは18歳以上）、有効な日本または外国の自動車運転免許を保有していること、日本国籍を有していないことが基本条件です。日本国内で受験する場合は、適法な在留資格を有している必要があります。	実施日	CBT方式と出張試験があり、CBT方式は決まった受験日は設けられておらず、テストセンターに空きがあれば随時受験が可能です。受験可能な日程や会場の空き状況は、試験申請システム上で確認できます。出張試験は、主に企業や団体がまとめて受験者を確保できる場合に実施されるもので、本会議の担当者が申請者の希望する場所に赴き、ペーパーテスト形式で行われます。
試験の種類	試験は以下の3区分で実施されます。 ・自動車運送業分野特定技能1号評価試験（トラック） ・自動車運送業分野特定技能1号評価試験（タクシー） ・自動車運送業分野特定技能1号評価試験（バス） それぞれ業務内容に応じた運行・安全・接遇に関する知識が問われます。	試験実施国	現在、試験は日本国内に加え、インドネシア、ベトナム、ネパール、ミャンマー、フィリピンなど複数の国で実施されています。（実施国は今後追加される可能性あり）
費用	国内受験の場合、受験料は5,000円（税抜）、海外受験の場合は37米ドルとなっており、受験場所によって金額が異なります。また、試験合格後、在留資格申請等で必要となる合格証明書の発行手数料は14,000円（税抜）です。支払った受験料は結果の合否にかかわらず返金されません。海外受験の場合は、為替レートの変動により受験料が変更となる場合がある他、国や地域によって支払い方法が限定されるケースもあります。	申込方法	CBT試験は、受験者本人が特定技能試験申請システムからアカウント登録を行い、本人確認・受験申請・受験料支払いを経て予約します。 一方、出張試験は企業や支援機関など団体単位での申請が必要で、事前調整後に申込みを行う流れとなります。

技能水準を証明する試験一覧

 外免切替の対象者 <ul style="list-style-type: none"> ●外国籍の在日居住者 ●日本国籍の帰国者 ●二重国籍者や永住帰国者 <p>【注意：以下のようなケースでは「正式な日本の運転免許証」が必要】 ・日本で中長期滞在（90日超）する場合 ・通学、仕事で日常的に運転する必要がある場合 ・日本国内の保険や自動車購入に免許が必要な場合 ・国際免許の有効期限（1年）が切れる・再発行できない場合</p>	 外免切替の条件 <ul style="list-style-type: none"> ●有効な外国の運転免許証を所持 <p>【切替時の条件】 ・免許証原本の提示が必要 ・免許証には発行日、有効期限、氏名、生年月日、免許種別などの記載がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本での滞在が通算3ヶ月以上 (外国の運転免許証が発行された取得日より前の滞在期間はカウントされない) ●住所地が取得する都道府県にある (原則として他都道府県では申請できない) 	 必要な書類一式 <ul style="list-style-type: none"> ●有効な外国の運転免許証の原本 ●日本語翻訳文 (JAFまたは在日大使館が発行したもののみが有効) ●パスポート●在留カード ●住民票 ●証明写真 (申請前6ヶ月以内に撮影されたもの) 			
 外免切替の流れ	STEP.1 申請書類の提出	STEP.2 適正試験 (視力・色覚)	STEP.3 筆記試験 (24ヶ国語対応)	STEP.4 実技試験	STEP.5 免許証交付

参考：警視庁「外国で取得した運転免許証を日本の運転免許証に切り替えるには」

ジャパントラックショー 2026

タカネットサービスは 今回も出展します!!

2026
5/14(木)・15(金)・16(土)
10:00~18:00 5/16のみ17:00まで
パシフィコ横浜

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

展示会概要や詳細については公式サイトをご確認ください。

トラックショー 2026 [URL] <https://truck-show.jp>



トラック関連業界における日本最大の展示会『ジャパントラックショー 2026』に前年に続き出展いたします!

弊社ブースでは、スカニアの最新車両である『SUPER』を含む3台を展示。

営業ナンバー対応型のリースサービス「サブスク de スグのり」、高品質・高性能なスカニア車両の短期リース

「S-RENT(エス・レント)」、トラック・商用車に特化したレンタルサービス「ランドレンタカー」など

お客様の課題解決に向けた、3つのサービスをメインにご紹介します。

読者の皆さま限定!

トラックショー 2026の『**無料招待券**』をプレゼント!
右記QRコードより、必要事項を入力の上、申し込みください。



ご応募締切
2026 5/7まで

※お客様からお申込みいただいた際の個人情報、株式会社タカネットサービスのプライバシーポリシー（弊社ホームページ参照 <https://takanet-s.com/privacy/>）に記載された目的以外では使用しません。また、法令に基づく場合を除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。※弊社都合により規定枚数に達した場合は抽選となることがあります。あらかじめご了承ください。

支援委託について

特定技能ドライバーを雇用する場合、企業は登録支援機関へ支援業務を委託することが可能です。一般的には、生活支援や各種手続き代行などを含め、月額の手支費用を支払う形で委託します。

受け入れ企業が一定の要件を満たしていない場合、登録支援機関への支援委託が必須となります。具体的には、過去2年間に中長期在留者の受け入れ・管理実績がない場合や、生活相談業務に従事した経験を持つ支援責任者・担当者が社内を選任できない場合などが該当します。

主なコストの目安

人材紹介費 1人あたり 0~60万円程度	●採用時に1度のみ発生 ●採用ルートや求める人材のレベル（日本語能力等）による ●理論年取による変動をさせずに、「〇円」という取り決めにすることが一般的 ●一般的に早期退職に対する返金規定がある
支援委託金 月額 0~5万円程度	●毎月の支援に対して発生 ●サービスに合った金額であるかの確認が必要
ビザ取得費用 印紙代：4,000円 委託費：0~20万円程度	●費用はビザ取得・更新の都度発生 ●入管への申請で必ず発生する費用 [海外採用の場合：無し（在留資格認定証明書の郵送代のみ）] [国内採用・ビザの更新の場合：収入印紙代4,000円] ●書類作成・申請を委託する場合（手続きが煩雑なため、委託が一般的）：1名、1回の申請あたり~20万円程度
寮の手配費 エリア等による	●初期費用は入居時に1度のみ発生、家賃を会社負担する場合は毎月発生 ●法人契約の場合、敷金、礼金、保証金、仲介手数料、中途解約金等を外国人に負担させるとは不可 ●家賃、管理費、共益費、水道光熱費等の実費（全部または一部）を外国人に負担させることは可
渡航/国内移動費 0~15万円程度	●基本的には配属の際の1度のみ発生 ●出発するエリアや時期により幅が出るが、航空券代は~10万円程度 ●LCCの利用、出発・到着時間の工夫で安く抑えられる場合もある

参考：全日本トラック協会「自動車運送業分野トラック区分における特定技能外国人受け入れの手引き」

採用における課題

一方で、実際の採用は慎重に進められているのが現状です。ある調査では、運送会社の8割以上が人手不足を感じているにもかかわらず、6割以上が特定技能外国人ドライバーの採用に消極的であることが分かっています。

最大の課題として挙げられるのが、安全運行に直結する日本語能力と運転技術への不安です。交通ルールや業務指示を正確に理解できなければ、事故やトラブルにつながる恐れがあるため、採用前後の日本語教育や運転研修の充実が不可欠となります。既存の日本人ドライバーとのコミュニケーションや文化の違いも大きな課題です。価値観や働き方の違いが現場での摩擦を生むケースもあり、受け入れ側の理解促進や職場全体でのフォロワー体制づくりが

求められます。定期的な面談や多言語でのマニュアル整備は、有効な対策といえるでしょう。

さらに、採用や教育にかかる費用負担、在留資格申請などの手続きの煩雑さも企業にとってはハードルとなっています。それらの課題に対しては、登録支援機関の活用や行政の支援制度を上手に取り入れ、長期的な視点で人材育成と定着を図ることが重要です。

まとめ

今回の記事では、特定技能ドライバーの必要性や採用の進め方、受け入れ事例など幅広い角度からご紹介いたしました。トラック業界における深刻な人手不足は、2024年問題によってさらに加速しており、即戦力として活躍できる特定

技能ドライバーへの注目は今後ますます高まっていくことが予想されます。採用にあたっては、登録支援機関の活用や社内受け入れ体制の整備など、事前の準備が成功の鍵となります。すでに受け入れを進めている企業では、外国人ドライバーが職場に溶け込み、長期的に戦力として活躍しているケースもあり、人材確保の有効な選択肢としての普及が見込まれます。また現在、自動車運送業分野での特定技能は1号のみですが、将来的に特定技能2号へ移行する可能性もあり、外国人ドライバーの受け入れ、就労環境は今後も大きく変わることが予想されます。

外国人ドライバーの採用は、単なる欠員補充ではなく、企業の活性化や運行体制を見直す機会でもあります。人手不足という課題に直面している事業者の方は、ぜひ本記事を参考に、特定技能ドライバーの採用を前向きに検討してみてください。

ジャパントラックショー 2026開催記念同時企画

想いを運ぶ

TNS×コココテン

2026年5月15(金)・16(土)・17(日) 11:00～18:00 オープン

※15日は20:00まで

この度ジャパントラックショー2026の開催に合わせて"てん・てん・店舗"の車両を活用した作家の杉本湖子とTNSのコラボレーション企画を実施します。

...

滋賀県の高校一年生(16才)の画家、杉本湖子さんが開く展覧会"コココテン"。

第3回は、ファンの多い神奈川県・横浜市にて開催、当日は約20点の作品を展覧いたします。

また今回は株式会社タカネットサービスとのコラボ企画"運ぶ"をテーマにした新作を発表、

"ココ"だけの注目コラボをぜひご覧ください！



コココテン・ヨコハマ

日時：2026年5月15(金)・16(土)・17(日)

11:00～18:00 OPEN /

15日のみ20:00までOPEN

場所：臨港パーク / 南口広場

住所：神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

交通：「みなとみらい」駅から徒歩約5分

「新高島」駅から徒歩約10分



▲ 展示ギャラリーイメージ



▲ 臨港パーク

作家プロフィール



SUGIMOTOKOKO2009

【Instagram】
最新情報は
こちら！

杉本 湖子/SUGIMOTO KOKO

現在高校1年生、初個展は14歳の時に開催しました。Instagramのフォロワー数は3.7万人で最も多く再生された動画は472万回です。個展や展覧会の開催時には、読売新聞や京都新聞などにも掲載されました。中学生のときに開催した母娘展では全国から1400人以上の来場者がありました。展覧会にはInstagramからの集客により近畿圏以外にも東京や九州から来場される方が見られます。

経歴

2009 滋賀県生まれ / 16歳

2023 初個展「DRESS」/ 京都市内アートギャラリー

2024 母娘展「つながるつなげる」/ 滋賀県守山市民ホール

2025 個展「コココテン」/ 京都市内アートギャラリー

個展「コココテン・オーサカ」/ あべのハルクス近鉄本店



新しい店舗のかたち、はじまる。

呼ばれる場所、必要とされる場所、行きたい場所へ。

▼ BEFORE



購入車両 メーカー：いすゞ 年式：平成19年 車体形状：アルミウイング

てん・てん・店舗とは？

転々 展示 転用 店舗 展開

販売・プロモーション/展示・発表/イベント利用/
店舗・屋外スペース活用/セミナー・ワークショップ/
託児スペース など活用方法は自由自在！

てんてん店舗とは、有限会社ウエストが所有する企画車両です。トラックの荷台部分に設けられた店舗空間を活用した移動式の多目的スペースです。

目的に応じて自由に発想で活用でき物販や展示イベントなど幅広い用途で利用できます。



Vo.1
USER REPORT
トラックランド
ユーザーレポート

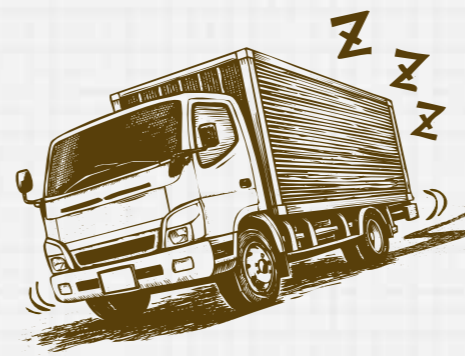
トラックランド ユーザー購入車両活用事例のご紹介
てん・てん・店舗
有限会社ウエスト(PR企画会社) / 滋賀県

TRUCKLAND COLUMNZ トラックランドコラム



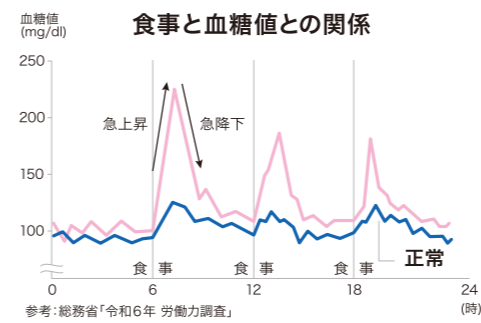
運転中に眠くなるのはなぜ？

運転中の眠気はドライバーの体調や睡眠不足だけでなく、車内環境や時間帯など複数の要因が重なって発生します。例えば、高速道路や夜間走行など周囲の変化が少ない環境では、刺激が乏しくなることで集中力や注意力が低下し、眠気を感じやすくなります。



また、車内は二酸化炭素濃度が高くなりやすく、二酸化炭素の割合が高くなることで血中の酸素濃度が低下し、眠気や倦怠感などの症状が発生します。満腹になると体内の血糖値が急上昇し、その後の急降下によって眠気を感じやすくなります。長距離運転前には、消化の良い食事を心がけましょう。脂っこい食事や炭水化物中心のメニューは血糖値が上がりやすいため、運転前には注意が必要です。ガムやこんぶなど咀嚼回数が多い食べ物は、脳に物理的な

刺激を与えます。噛むことにより表情筋が作用し、脳幹網様体へ伝達することで脳が活動状態へとシフトします。また同時に脳への血流量が増加するため、酸素や栄養が送り込まれ、眠気が抑制されます。



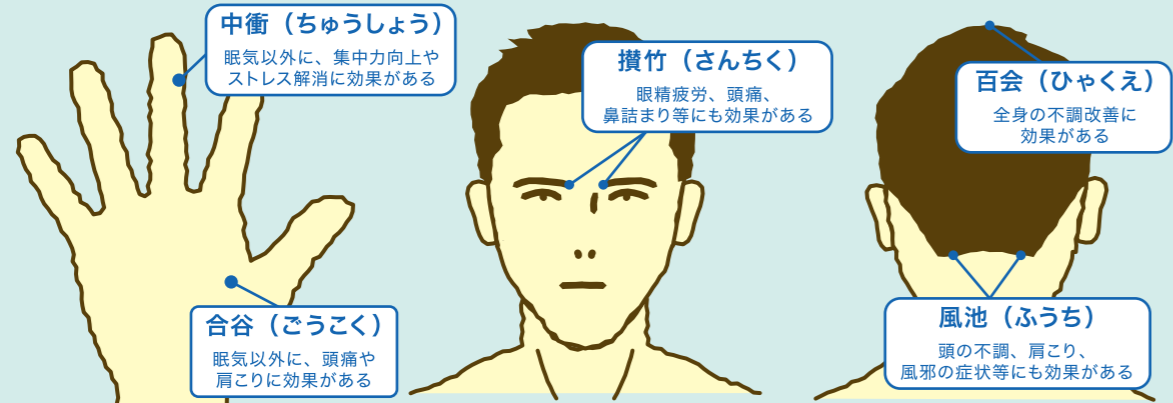
眠気対策におすすめの食べ物・飲み物



POINT カフェインは睡眠誘発物質の働きを妨げて眠気を抑えますが、過剰摂取は心拍数上昇などの副作用があるため、飲みすぎに注意しつつ、ノンカフェイン飲料等を併用するのも効果的です。

トラックドライバーの眠気対策！食べ物・飲み物やグッズなどを紹介
長時間の運転が求められるドライバーにとって、眠気は避けて通れない問題です。特に深夜や早朝の運行、連続した長距離運転では、集中力の低下や判断ミスにつながる危険性があります。今回は、トラックドライバーの眠気対策をはじめ、手軽な対策を紹介いたします。日々の運行をより安全で快適にするためにもぜひチェックしてください。

眠気対策におすすめのツボ



POINT ツボを刺激することで血流が促進、脳が活性化するため眠気を緩和します。またツボ押しは道具を使わずに短時間でできるので、信号待ちや休憩中などの際、手軽に実践できる対策となります。

眠気対策におすすめなグッズ・アイテムを紹介！



POINT 食べ物や飲み物以外にも、皮膚や嗅覚を刺激することで眠気防止に繋がります。冷感シートに含まれるメントールなどの冷感成分は、水分が蒸発する際に気化熱が発生し皮膚の温度が下がります。この冷たい刺激が交感神経に作用し、眠気の状態から覚醒状態に切り替わるため眠気覚ましに効果的です。またアロマなど鼻孔からの刺激は、脳の脳辺縁系に直接伝わることで交感神経が刺激され脳の覚醒を促します。

まとめ

どれだけ入念に眠気対策をしていても、長時間の運転や夜間走行では、どうしても眠気を感じる場合があります。無理な走行は、事故につながるおそれがあります。眠気を感じたら、まずは安全な場所に停車し、15〜20分程度の仮眠を取りましょう。短時間でも脳を休ませることで、集中力や判断力が回復します。仮眠後は、外の空気を吸って体を動かすのが効果的です。できれば軽いストレッチやウォーキングを行い、血流を促すことで再び眠気がぶり返すのを防げます。また、顔を洗うなどで体に刺激を与えるのも有効です。重要なのは、「少し眠いけど大丈夫」と過信しないことです。眠気は一瞬で注意力を奪い、重大な事故に直結しますので、本記事を参考にしながら眠気防止に務めていきましょう。



営業所のご案内

最新の車両情報は
HPでチェックできます!

トラックランド東日本車両センター
〒324-0412 栃木県大田原市蛭田1番225

トラックランド茨城
茨城県結城市若宮11-23

トラックランド埼玉
埼玉県さいたま市岩槻区鹿室606-3

本社
神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番4号
みなとみらいビジネススクエア

トラックランド東名浜松インター店
〒431-3115 静岡県浜松市東区西ヶ崎町1027

トラックランド近畿販売センター
京都府八幡市上奈良小端25

トラックランド近畿販売センター第二展示場
京都府八幡市岩田高木59番地

トラックランド四国
高知県高知市大津乙1142-1 松岡ビル102

月刊トラックランドの過去記事やバックナンバーはこちらから!

月刊トラックランド ONLINE

<https://truckland.jp/store/mag/>



最新の車両情報は
ホームページで確認できます!

トラックランド <https://truckland.jp>



ランドレンタカー

レンタカーの予約リクエストはこちらから!
<https://landrentacar.jp>



トラックランド ID:truckland
LINE@友だち募集中!
最新車両のお得情報を配信中!



営業ナンバー対応のトラックリースなら
サブスク@スグのり
<https://truckland.jp/sugunori>



随時更新中!
instagram
@truckland_official



いいね! 募集中
facebook
@TRL.YOKOHAMA



本誌に関する
お問合せ先

株式会社タカネットサービス 月刊トラックランド編集部
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番4号みなとみらいビジネススクエア
TEL:0120-617-417 FAX:0120-137-136 お電話受付時間 平日10:00~18:00(土・日・祝休)

